



医療メモ 本庄市児玉郡医師会広報部 **まずは子宮頸がん検診を受けましょう**

子宮頸がんは、女性の命はもちろん、妊娠や出産の可能性まで奪ってしまう、人生に大きな影響を及ぼす病気です。しかし、定期的な検診によってがんになる前に発見できる病気でもあります。子宮頸がん検診は、自治体での検診事業として集団検診や個別検診が行われています。もちろん、最寄りの産婦人科クリニックで受けることもできます。子宮頸がん検診そのものは、わずか5分もかからず終わる検診です。症状がなくても1～2年に一度は検診を受けてください。

子宮頸がんとは

子宮の下部を子宮頸部、子宮の上部を子宮体部と呼び、それぞれの部位に生じるがんを子宮頸がん、子宮体がんといいます。子宮頸がんは子宮がんの約7割を占めます。以前は発症のピークが40～50歳代でしたが、最近は20～30歳代の若い女性に増えており、30歳代後半がピークです。

国内では、毎年約1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約3,000人が死亡しており、また2000年以後、患者数も死亡率も増加しています。

近年20代、30代での発症が増加し、子宮頸がんの患者さんの25%以上を占めるようになり、また結婚、妊娠の高齢化により子どもを産むために必要な子宮をこの時期まで温存するために、ますます子宮頸がん検診が重要となってきています。

病気の原因は

子宮頸がんは、ほとんどが発がん性ヒトパピローマウイルス

(HPV)の感染が原因となって発症します。発がん性HPVは性行為により感染しますが、特別な人だけが感染するのではなく、多くの女性が一生に一度は感染するごくありふれたウイルスです。このウイルスは感染しても多くの場合(約90%)は、自然に排除されます。しかし、約10%の持続的に感染している方に、子宮頸部の細胞に変化が起きます。まず、異形成という細胞になり、異形成は軽度→中等度→高度の3段階があります。高度異形成や上皮内がんと言われる0期の初期がんの段階で治療をすれば、子宮全部を摘出せずにすみ、妊娠・分娩が可能ですし、また完治します。このため、子宮がん検診は、性行為が始まったら、1～2年に一度必ず受けることが推奨されます。

子宮頸がんの症状

子宮頸がんは通常、早期にはほとんど自覚症状がありませんが進行するに従って異常なおりもの、月経以外の出血(不正出血)、性行為の際の出血、下腹部の痛みなどが現れてきます。これらの症状がある方は、産婦人科で早めに診察を受けてください。

子宮頸がん検診

子宮の入り口付近の子宮頸部をブラシなどで擦って細胞を集め、顕微鏡でがん細胞や前がん病変の細胞を見つける細胞診検査を行います。この検査を子宮頸がん検診とよびます。

定期的に検診することで子宮頸がんを早期発見できれば、治癒率も高く、赤ちゃんが産めなくなる事もなく、子宮頸がんでの死亡率も低下するはずです。

休日・夜間の急病のときは…

●本庄市児玉郡医師会立本庄市休日急患診療所 ☎23-3322

本庄市保健センター内で、内科系の比較的軽微な症状が軽く、入院の必要がない方の診療を行います。

※診療以外に関する問い合わせ・電話相談はご遠慮ください。

▶**診療日** 日曜・休日・年末年始(12/30～1/3)・平日木曜日夜間

▶**診療時間** 午前9時～正午、午後1時～4時、午後7時～10時(平日木曜日夜間は午後8時～10時)

※健康保険証を持参してください。

※**夜間の診療は午後9時45分までに受付をしてください。**

●在宅当番医療機関 ▶診療時間 午前9時～正午

2月3日(日)	恵南クリニック	見福2丁目	☎24-0008
2月10日(日)	したら眼科クリニック	上里町金久保	☎33-8333
2月11日(祝)	本庄皮膚科医院	銀座3丁目	☎22-3233
2月17日(日)	児玉清水クリニック	児玉町児玉	☎72-7543
2月24日(日)	鈴木外科病院	児玉町八幡山	☎72-1235
3月3日(日)	関根内科外科医院	神川町新里	☎77-7667

★119番は緊急時(火災やけが人など)の受付専門電話番号です。医療機関情報については、**児玉郡市広域消防本部指令課☎24-1119**でご案内していますのでご利用ください。診療科目によっては県外や児玉郡市以外の病院をご案内する場合があります。

●困ったときは電話相談を！

●ほんじょう健康相談ダイヤル24(相談料・通話料無料) ☎0120-122-885

健康・医療・出産・育児・介護などの相談、医療機関情報の提供を行います。(市内在住者が対象)

▶**受付時間** 24時間・年中無休

●埼玉県救急電話相談(通話料利用者負担) ☎#7119

救急医療相談に看護師が対応します。健康相談・育児相談には対応しません。(大人・小児共通)

※IP電話、ひかり電話、ダイヤル回線からは☎048-824-4199

▶**受付時間** 24時間・年中無休

下記の電話番号からも救急電話相談が利用できます。

○大人の救急電話相談 #7000

○小児救急電話相談 #8000 又は☎048-833-7911

～感染症の流行を防ぐために～ 予防接種を受けましょう



病気にかからないように、また、重症にならないように、まだ接種していないお子さんは、予防接種を受けましょう。対象者は無料で受けられます。

※接種期間を過ぎて接種した場合は、全額自己負担になります。

※予診票がお手元がない場合は、母子健康手帳をご持参のうえ、本庄市保健センター又は市民福祉課(アスピアこだま内)の窓口へお越しください。

①二種混合(ジフテリア・破傷風)予防接種

●**対象** 11歳以上13歳未満

●**接種期間** 11歳の誕生日の前日から13歳の誕生日の前日まで

※予診票は、小学6年生のお子さんへ郵送しています。また、小学5年生のお子さんは、11歳になったら予診票を郵送します。

②麻しん・風しん(MR)予防接種

麻しん・風しんの1期は生後12月から24月までに1回接種し、2期は小学校就学前の1年間に1回接種します。

<平成30年度の2期について>

●**対象** 平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれの人

●**接種期間** 3月31日(日)まで

③日本脳炎予防接種の特例

次の期間に生まれた人は特例の対象となりますので、現在までの接種回数を確認し、不足回数を接種してください。

○平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの人

20歳の誕生日の前日まで接種することができます。

高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種はお済みですか？

平成30年度対象者の接種期間は3月30日(土)までです。

平成30年4月以降に転入した対象者等で予診票がお手元がない場合は、本庄市保健センターへお問い合わせください。

●**対象**

・今年度65・70・75・80・85・90・95・100歳になる人(平成31年3月31日現在)

●接種回数

・1期 3回接種

・2期 9歳以上で1回接種

※1期の接種後、おおむね5年の間隔を空けて接種してください。

●**接種期間** 20歳の誕生日の前日まで

※この期間に生まれた人でも、20歳の誕生日以降の接種は全額自己負担になります。

※2期の予診票は、中学3年生、及び高校3年生のお子さんに郵送しています。

○平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの人

第1期の接種が7歳6か月までに3回完了していない人は9歳以上13歳未満の間に不足した第1期(最大3回)を接種することができます。

●**接種期間** 9歳の誕生日の前日～13歳の誕生日の前日

※2期の予診票は小学4年生のお子さんに郵送しています。また、小学3年生のお子さんは、9歳になったら2期の予診票を郵送します。

④子宮頸がん予防ワクチン

現在、接種の積極的な勧奨を一時的に差し控えています。ただし、定期接種自体は中止しないため、希望者は継続して受けることができます。接種を希望する人は、有効性、及び副反応等について十分に理解したうえで、接種を受けてください。

●**対象** 小学6年生～高校1年生の女子

★本庄市保健センター☎24-2003

※4月1日生まれの人は3月31日に満年齢に達します。

・接種日時時点で60歳以上65歳未満の人で、心臓・じん臓・呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に一定の障害を有する人

※既に肺炎球菌ワクチン(23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン)の接種を受けた人は対象外です。

●**費用** 2,000円

★本庄市保健センター☎24-2003